

第2回「高齢者救急地域連携塾」

テーマ：「それぞれの現場が抱える課題と今後」

開催日時：2013年 7月25日（木曜日） PM18:30 ～ 21:00

開催会場：東京医科大学 第1研究教育棟3階 第1講堂

住所 東京都新宿区西新宿6-7-1

電話 03-3342-6111

【参加費無料】

※終了後軽食を準備しております

主催 高齢者救急地域連携塾

ご 挨拶

平成 25 年 6 月吉日

謹啓

初夏の候、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
また、日頃からのご協力に衷心より感謝申し上げます。

さて、これからの高齢社会には、急性期から亜急性期、療養にかけての医療連携、そして、医療と介護、産学や行政との協働等、様々な連携が求められると思われま

す。このことに鑑みて、私たちは、救急から始まる有機的で効率的な地域での医療の連携実現を目的に、昨年 10 月に第 1 回「高齢者救急地域連携塾」を開催いたしました。その際のテーマを「現時点での課題と取り組み」として、それぞれの観点からのご講演を頂き、現状や課題を共有し、これからのあるべき姿を考えました。参加された方々から次回を期待される声も頂き、この度、「それぞれの現場が抱える課題と今後」をテーマとして第 2 回を企画いたしました。

お忙しいとは存じますが、お誘いあわせの上、ご参会いただきたく、心よりお願い申し上げます。

謹白

高齢者救急地域連携塾
世話人代表 太田 祥一
東京医科大学救急医学講座 教授

プログラム

テーマ：「それぞれの現場が抱える課題と今後」

1. 開会挨拶：東京医科大学救急医学講座 教授 太田 祥一
2. 情報提供：①地域連係情報共有システムのご案内と実証試用について
コニカミノルタヘルスケア株式会社 取締役東日本支社長 堀 嘉彦
②口腔ケアの重要性とその実際
医療法人社団高輪会 理事長 深井 眞樹
歯科訪問診療研究所 センター長 大塚 博子
3. 基調講演「救命救急センターからの医療連携の現状と課題
～ソーシャルワーク支援から見えてくるもの～」
演者 東京医科大学病院 医療ソーシャルワーカー
課長補佐 藤平 輝明
座長：東京医科大学救急医学講座 主任教授 行岡 哲男
～ ・ ～ ・ ～ 休憩 10 分 ～ ・ ～ ・ ～
4. パネルディスカッション：「それぞれの現場が抱える課題と今後」
演者 医療法人社団佑和会 木村病院 院長 木村 佑介
演者 医療法人社団中村診療所 院長 中村 洋一
演者 ポシブル医科学株式会社 代表取締役会長 塩中 雅博
演者 東京医科大学病院 医療ソーシャルワーカー 課長補佐 藤平 輝明
座長：東京医科大学救急医学講座 教授 太田 祥一
5. 総括と今後に向けて
東京医科大学救急医学講座 主任教授 行岡 哲男

以上

会場地図



【お問合せ】※事前申込は不要です。

高齢者救急地域連携塾事務局

(総合メディカル株式会社東京支店内 担当 利根川)

〒141-0032 東京都品川区大崎 1-11-1

ゲートシティ大崎ウエストタワー1階

TEL : 03-5740-8781 FAX : 03-5740-8782

E-mail : nariko.tonegawa@sogo-medical.co.jp